

道の駅あやま及び周辺公共施設敷地におけるエリアマネジメント事業にかかる
公募型プロポーザル審査結果及び講評

1. 経緯

- ・ 公告・募集要項等の公開 令和5年 9月 1日 (金)
- ・ 質問書の受付期限 令和5年10月20日 (金) 正午
質問5件 (1者)
- ・ 参加表明書等の受付期限 令和5年11月 2日 (木) 正午
参加表明 2者
- ・ 本申込みの受付期限 令和6年 1月10日 (水) 正午
提出 2者
- ・ プロポーザル審査 令和6年 1月23日 (火)

2. 審査基準

審査項目	審査の視点	配点	
ア 事業者の能力	(的確性、積極性) 利活用対象物件の利活用に対する考え方、参画意欲	10	10
イ 事業に関する提案内容	(的確性) 実施要件との整合性及び地域の特性に対する理解度	5	35
	(独自性) 提案事業者ならではの創意工夫の発揮の度合い	10	
	(安定性) 事業の安定性 (法令適合性、財務の視点を含む)	10	
	(発展可能性) 事業メニューの拡大や施設の利活用を通じたネットワーク創出の可能性	10	
ウ 事業の実施体制	(的確性) 事業主体における実施体制、協力事業者等がいる場合の役割、責任分担	10	20
	(的確性) 事業進捗に係るリスク想定、リスク管理	10	
エ 事業の工程	(的確性、積極性) 事業の工程 的確性、積極性 優先交渉権者選定後から事業期間終了までのスケジュール	10	10

オ 地域との連携、貢献	(協調性、積極性) 地域との連携、協調、市内事業者の活用、地域経済への波及効果	20	20
カ 提案金額	・提案価格が予定価格(最低基準価格)未満のものは失格とする。 ・応募者のうち提案価格が最高であるものを第1位とし、点数の満点である5点を付与する。 その他の応募者の価格点は、第1位の提案価格(最高価格)と当該応募者(当該提案価格)の提案価格との比率により算出する。 算出した得点の小数点以下を切り捨てる。 (算出式) 価格点 = 5点 × (当該提案価格 / 最高価格)	5	5

3. 審査の結果(選定委員の評価点の合計点)

審査項目	配点	A社	B社
ア 事業者の能力	50	34	36
イ 事業に関する提案内容	175	109	109
ウ 事業の実施体制	100	66	48
エ 事業の工程	50	28	24
オ 地域との連携、貢献	100	68	56
カ 提案金額	25	25	25
合計	500	330	298

4. 選定結果

本プロポーザルは、書面審査及びプレゼンテーションによる審査を行い、合計点が最も高く、かつ合計点が満点の60%(300点)以上である以下の事業者を最優秀者(優先交渉権者)と審査委員会で決定しました。

最優秀者 大和株式会社

次点者 なし

5. 講評

利活用対象物件の敷地内にて「道の駅」としての要件を満たしつつ、その機能を最大限活用することにより、地域コミュニティの活性化や賑わいの創出、地域振興に寄与する企画提案を選定する目的で公募型プロポーザルを実施しました。

募集に応じた民間事業者の提案内容は、いずれも既存施設の改修、提供サービスの向上による増収を見込んだ収支の改善や、地域の特産品の販売を通じた地域コミュニティの活性化、イベント等の開催による賑わいの創出に寄与する提案となっていました。

またそれぞれの提案には民間事業者としての創意工夫・ノウハウによって利活用対象物件敷地内に集積している多様な施設の一体的利用により要件を満たしつつ、「道の駅」機能の最大化、現在の事業に配慮しつつ新たなサービスや雇用を創出すること、地域住民や近隣企業と連携して施設を運営し地域の活性化に貢献する等の提案が盛りこまれ、利活用対象物件のみならず市と地域の将来にとって有益な内容となっていました。

審査基準に基づき、それぞれの提案を審査した結果、最高評価となった提案を提出した応募者を最優秀者として選定しました。

最優秀者の提案は、道の駅あやまと阿山ふるさとの森公園の既存施設の改修および駐車場等の造成整備によるサービスの向上、イベントエリアの確保によって賑わいの創出や新たな集客が期待できるとともに、あやま文化センターについては施設を改修し物流中継基地としてリニューアルすることにより、手堅く収益を生みながらこのエリアに還元していくという自走式の内容となっていました。

提案について審査委員からは、地元雇用や地域の特産品のPRにつながることを期待するとともに、収支計画書などから無理のない実現性の高い提案であったことを評価する一方で、道の駅及び物流中継拠点として整備するあやま文化センターの賑わいがキャンプ場として利用を継続する阿山ふるさとの森公園まで十分に波及するための具体策、非常時の宿泊場所や食事の提供を含む事業者の社会的貢献事業の創出、今後の地域貢献や直接的な対話を通じた関係性の構築による地域との連携などが、引き続き検討されることを期待する、などの意見が示されました。

エリアマネジメント事業者には、このような意見に配慮しながら、提案した事業を実現されることを期待します。

最後に、ご多忙のなか当プロポーザルに参加いただいた事業者の皆様にご挨拶を申し上げます。

道の駅あやま及び周辺公共施設敷地におけるエリアマネジメント事業にかか
る公募型プロポーザル審査委員会

委員長 近藤 早映